

山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行
山形県保険医協会
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839
購読料 年共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷
第538号

9月号 TOPICS

秋のPR号

今月号はまだ会員になられていない先生にもお送りしています

保険で悩んでいませんか？ 9月、10月は共済制度申し込み期間です

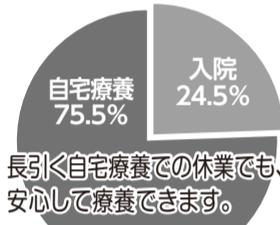
期間中、富国生命・大樹生命・太陽生命の共済制度普及員が伺います

お手頃な掛金で安心の備えを

休業保障

自宅療養期間も給付

通院日だけでなく自宅療養期間も給付対象となることが加入者から好評です。近年の入院期間の短期化を受け、休業期間のうち自宅療養の割合は7割を超えています。



加入時45歳
8口加入の場合
掛金は毎月
24,000円

30日分の給付を受けた場合
自宅療養 **1,440,000円**
入院療養 **1,920,000円**

- 再発や後遺症でも通算500日以内なら、何度でも給付を受けられます
- 代診をおいても、ご自身が診療を休んでいれば、給付を受けられます
- 所得補償保険との併給もできます

保険料は加入時から満期まで変わりません
(掛け金の安い、若年時での加入が有利です)

責任が大きいドクターのために

グループ生命保険

おすすめポイント

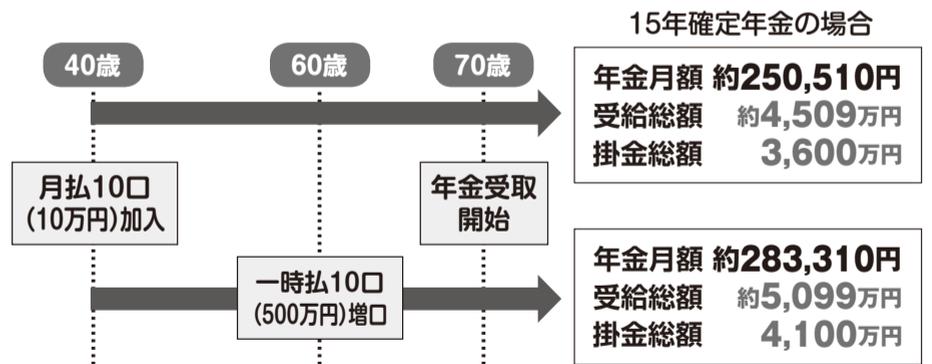
- 割安な保険料で最高1億1,000万円の高額保障
- 告知のみで手続き簡単、医師の審査は不要
- 1年に1度の決算で余った保険料は加入者へ返金

ゆとりある未来のために

保険医年金

- 月払は1口1万円から、通算30口まで
- 余裕があるときは一時払(1口50万円、1回40口まで)で積み増し
- 受取時期や方法は受取時に選択

加入例 40歳で月払10口加入し、70歳から年金受給の場合
(下段は60歳で一時払を増口した場合)



予定利率1.202%を最低保証 (2024年1月1日現在)

山形県保険医協会 第49回定期総会のご案内

日時: 2024年11月16日(土) 16:00~20:20
会場: 大手門パルズ(山形市)

第1部 総会議事 16:00~16:40
(活動方針、予算・決算、役員選挙)

第2部 市民公開講演会 17:00~18:20

紅麹問題を考える

～蔓延する“機能性幻想”に要注意～

講師: 群馬大学名誉教授 高橋久仁子氏

- ◇おどなたでも参加できます。事前にお申し込みください
- ◇参加費は無料です

第3部 総会懇親会 18:30~20:20

※会員の皆様への総会のご案内は10月上旬を予定しております

超高齢化の日本において、保険診療を財政的な側面から担保するためにも、医療の効率化は喫緊の課題とされています。その効率化の一翼を担うのがマイナ保険証を始めとする医療DXなのかもしれません。

医療機器の進化も目覚ましいものがありますが、使い慣れた従来の機器とは違い、新たな機器を使いこなせるようになるまで、再度の修練が必要になります。

また、今の低医療費政策下では、高価な最新の医療機器を導入できない医療機関もあり、これまでにない医療機関の格差が広がることも懸念されます。

医療の効率化の代償を患者さんが払うことのないよう願うばかりです。(G)

「最も暑い夏」
2年連続の
でしたが、地
球の温暖化が
進んでいると
感じるのは私
だけではないと思います。
18世紀の産業革命以降、
二酸化炭素の排出が急激に
増えました。人間は石油や
石炭などの化石燃料を燃や
して、たくさんのエネルギー
を得たのです。エネル
ギーは人間の生活を効率化
しましたが、その代償が地
球温暖化といっても過言で
はありません。

さて、私たちの身近な医
療界に目を向けると、医療
DXやAIの発達により、
それらが疾病判断の大きな
補助となり、医師の負担が
少なからず減って行くこと
が考えられます。